

看護部教育計画

| レベル | 科目名 | 研修目的 |
|-------------|---|---|
| I の 1 | 採用者研修 | 組織の一員としての役割、責任を自覚する。 病院組織・機能・看護部の理念・方針を理解する。 |
| | 3ヶ月フォローアップ研修 | 臨床での不安に対処できる。CVPPP研修を受けることで暴力防止に関する看護技術を学ぶ。 |
| | 6ヶ月フォローアップ研修 | 組織の一員として、必要な基本的姿勢、態度を習得する。自身の看護について客観的に考えることができる。 |
| | 12ヶ月フォローアップ研修 | 自己評価と今後の課題に取り組む方法を学ぶ。 |
| | 看護技術演習 精神科看護技術演習 | 基本的看護基礎技術を段階的に習得する。 |
| | ※ フォローアップ研修および技術演習については、既卒者は、研修内容によっては参加の場合もある。 | |
| | 新採用者(既卒者)フォローアップ研修 | 組織の一員としての自覚を養う。自己の課題を明確にし、取り組む方法を見いだす。 |
| I の 2 | ケーススタディ | 自分の看護をまとめる過程において、実践と理論を統合させる能力を養う。 論文の書き方、プレゼンテーションについて学ぶ。 |
| II | レベルII-1研修(1年目) | 後輩を指導するための準備として必要事項を理解でき、準備できる。(看護技術、知識、態度、教育的指導) 後輩の指導ができるコーチングスキルを学び、考えることができる。 |
| | プリセプターフォローアップ研修 | プリセプターの役割が理解できる。 教育的指導、看護実践技術、知識をもとにプリセプター役割が実践できているか振り返ることができる。 他のプリセプターと体験を共有できる。 |
| | レベルII-2研修(2年目) | 小集団のリーダー、組織の一員としての役割、業務を認識して遂行するために必要な能力について理解できる。 |
| | レベルII-3研修(3年目以降) | 小集団のリーダー、組織の一員としての役割、業務を認識して遂行するために必要な能力について理解できる。 |
| III | レベルIII-1研修(1年目) | 自己の課題への取り組み方を学び、実践したことを報告できる。 組織におけるリーダーの役割、責任を理解し、リーダーとして行動できる能力を養う。 |
| | レベルIII-2研修(2年目以降) | 自己の課題に取り組んで実践したことを報告できる。 組織におけるリーダーの役割、責任を理解し、リーダーとして行動できる能力を養う。 |
| IV | レベルIV-1研修 | チーム内の現状分析ができ、問題が明確にできる。組織から求められるリーダーシップについての能力を養う。 看護を論理的にまとめる能力を養う。 |
| | レベルIV-2研修 | チーム内の問題を明確にし、問題解決ができる実践能力を養う。リーダーシップの具体的方法について学ぶ。 実践している看護を客観的に評価できる能力を養う。 |
| 管理 | 主任研修 | 主任としての管理能力を養う。 |
| | 師長研修 | 看護管理者を含めた職員のメンタルヘルスケアが行える能力を養う。 看護管理者として部署の課題を解決できる能力を養う。 |
| 全体 | ケーススタディ・看護研究発表会 | 院内のケーススタディ・看護研究発表会に参加し、ケーススタディ、看護研究のまとめ方、取り組み方について学ぶ。 |
| 補助者 有期職員 | 補助者研修 | チームの一員として責任を自覚した業務を遂行するための知識、看護補助技術を養う。 |
| | 有期職員研修 | チームの一員としての業務と責任を遂行するための知識と技術を養う。 |
| 部署別 専門教育 | 1階入院棟 | アルコール依存症とその治療・看護における基礎的知識・技術を習得する。 |
| | 1階さら入院棟 | 医療観察法医療の基本的考え方および、多職種での治療方法について理解する。 |
| | 2階入院棟 | 精神科救急医療および慢性重症患者の治療・看護の実際について理解する。 |
| | 3階入院棟 | 長期入院患者の治療・看護の実際について理解する。 |
| | 4階入院棟 | 精神科救急医療の基本となる考え方および治療・看護の実際について理解する。 |
| | 外来・デイケア | 外来医療・看護の考え方および、看護師としての役割と技術について理解する。 |